

南湖公園



白河市文化財保存活用地域計画

概要版

白河関跡



小峰城跡



令和4年3月

白河市

はじめに

白河は関東と東北の境界に位置する交通の要衝であり、古代には白河関しらかわのせきが置かれるなど、時代を通じて重要な役割を果たしてきました。多くの人と物が行き交う土地として栄えた白河には、多くの文化財が残されています。しかし、近年は社会状況の変化や人口減少などにより、各種文化財の維持や継承が難しくなっています。

白河市では、市内に所在する文化財をかけがえのない地域の財産と位置づけ、次世代に継承するとともに、地域資源として活用するための「白河市文化財保存活用地域計画」を作成し、令和3年12月に文化庁の認定を受けました。この計画は、市内に所在する文化財を総合的に把握し、自治体と地域が総がかりで保存・継承・活用に取り組んでいくための方針と施策を定めるものです。

この計画により、市内各地域に蓄積されてきた歴史文化の豊かさを再認識し、地域の文化財を地域づくりの資源として活用するための基盤づくりを目指します。計画の期間は10年（令和4年度～令和13年度）としています。

文化財とは

「文化財保護法」では、文化財とは「我が国にとって歴史上又は芸術上価値の高いもの」と定められており、建造物、美術工芸品、古文書、考古資料などのほか、遺跡、植物、音楽や芸能、風習など幅広い分野のものが含まれます。

国・県・市では、文化財のうち重要なものを指定文化財とし、保護を図っていくものとしています。現在、白河市内に所在する国・県・市の指定（認定含む）文化財は151件となっています。

このうち国指定文化財8件の内訳は、原始時代から近世にかけての史跡が大半を占めています。

県指定文化財のうち有形文化財は18件（建造物3件、美術工芸品15件）、民俗文化財3件、天然記念物2件の合計23件となっています。

市指定文化財は、有形文化財74件（建造物6件、美術工芸品68件）、民俗文化財9件、史跡等20件、天然記念物13件となっています。

国・県・市指定（認定）文化財の件数と内訳（地域別）（令和4年3月現在）

	国指定			国認定			県指定					市指定						
	種別	地区別件数 (内訳)	合計	種別	地区別件数 (内訳)	合計	種別	地区別件数 (内訳)				合計	種別	地区別件数 (内訳)				合計
		白河			白河			白河	表郷	大信	東			白河	表郷	大信	東	
種別件数							重要文化財 (建造物)	3	-	-	-	3	重要文化財 (建造物)	4	1	-	1	6
							重要文化財 (絵画)	1	1	-	-	2	重要文化財 (絵画)	9	1	-	-	10
							重要文化財 (彫刻)	1	1	-	-	2	重要文化財 (彫刻)	9	1	-	2	12
				重要美術品 (工芸品)	4	4	重要文化財 (工芸品)	2	3	1	-	6	重要文化財 (工芸品)	16	1	-	2	19
							重要文化財 (書跡)	-	-	-	-	0	重要文化財 (書跡)	3	2	-	-	5
	重要文化財 (古文書)	1	1				重要文化財 (古文書)	-	-	-	-	0	重要文化財 (古文書)	2	-	-	-	2
							重要文化財 (考古資料)	3	1	-	-	4	重要文化財 (考古資料)	2	5	5	-	12
							重要文化財 (歴史資料)	1	-	-	-	1	重要文化財 (歴史資料)	8	-	-	-	8
							重要有形 民俗文化財	1	-	-	-	1	重要有形 民俗文化財	1	3	-	-	4
							重要無形 民俗文化財	※ 2	-	-	-	2	重要無形 民俗文化財	1	4	-	-	5
	史跡	6	6				史跡	-	-	-	-	0	史跡	11	8	-	-	19
	史跡及び名勝	1	1				史跡及び名勝	-	-	-	-	0	史跡及び名勝	-	-	-	1	1
						天然記念物		1	1		2	天然記念物	1	7	2	3	13	
地区別計 指定別計		8	8		4	4		14	7	2	0	23		67	33	7	9	116
※記録選択（記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財）1件を含む													総計	151				

指定文化財以外にも、地域には多くの文化財が残されています。

身近な文化財の例として、祭礼や年中行事、暮らしの道具、あるいは里山の景観、名木や希少植物、地域に名を残した人物の伝記、昔話や伝承などが挙げられます。これらは、地域の歴史と文化の証となる大切な文化財です。

こうした文化財を次世代へ守り伝えていくために、まずは所在や内容が分かっていないものについて調査し、把握する必要があります。

この計画は、地域に眠る文化財を把握し、地域の大切な財産として位置づけた上で、保存・継承・活用につなげていくことを目指しています。

文化財のさまざまな種類



白河の歴史文化の特徴／関連する主な文化財

白河には、原始時代から受け継がれてきた歴史や文化財があります。その中でも特徴的な要素を抽出し、8つのテーマにまとめました。これらのテーマに基づきながら、文化財の掘り起こしや、保存活用を推進していきます。

1 みちのくの入口・白河

関東と東北の境界に位置し、古くから交通の要衝であった白河の地理的環境は、白河の歴史文化や文化財を生み出す母体となりました。



白河関跡（古関蹟碑）



町屋遺跡出土硬玉(翡翠)製大珠

2 白河結城家の治世

鎌倉時代から安土桃山時代にかけて白河の地を治めた白河結城家は、古文書や美術工芸品など多くの文化財を残しました。



白川城跡（主郭部分）



木造釈迦如来坐像（大統寺）

3 歴代藩主と城下町

7家21代の大名が藩主を務めた白河藩。その中心であった小峰城と城下町は、白河の政治・文化の中心地となりました。



丹羽長重廟



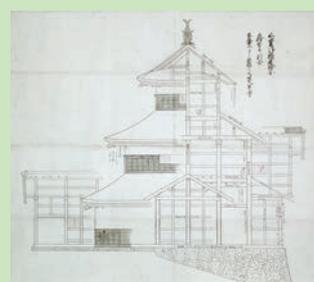
白河提灯祭りの神輿（鹿嶋神社）

4 松平定信の藩政と文化事業

まつだいらさだのぶ
松平定信は、幕府老中として「寛政の改革」を行ったほか、白河藩主としてもさまざまな藩政改革や文化事業を行いました。



共楽亭



三重御櫓建絵図（白河城御櫓絵図より）

5 戊辰戦争白河口の戦いと慰霊

交通の要衝である白河は、戊辰戦争の激戦地となりました。奥羽越列藩同盟軍と新政府軍、両軍の戦死者を慰霊してきた歴史は、白河ならではの遺産といえます。



稲荷山古戦場跡



戦死墓（松並）

6 白河の近代化遺産と文化振興

明治時代以降の白河は、福島県南地方の中心として、政治・産業・文化の各方面が密接に関わりながら発展し、現代に繋がるまちの基盤を形成しました。



関根正二「老夫妻像」



白河ハリストス正教会聖堂

7 白河の産業と諸職

白河では、古くからさまざまな産業が生み出されてきました。馬産、製陶など失われてしまったものもあれば、醸造、石材加工、だるま製造など、現代まで継承されているものもあります。



白河だるまの原型



勝善神社の馬産信仰資料

8 白河の暮らしと祈り

白河には、地域の暮らしや信仰のありようを伝える文化財が残されています。また、各地域では、豊作や疫病除けなどを祈願しさまざまな祭礼・行事がおこなわれてきました。その多くは、現在もなお継承されています。



関辺のさんじもさ踊



鈴木家住居



十日市提灯祭り

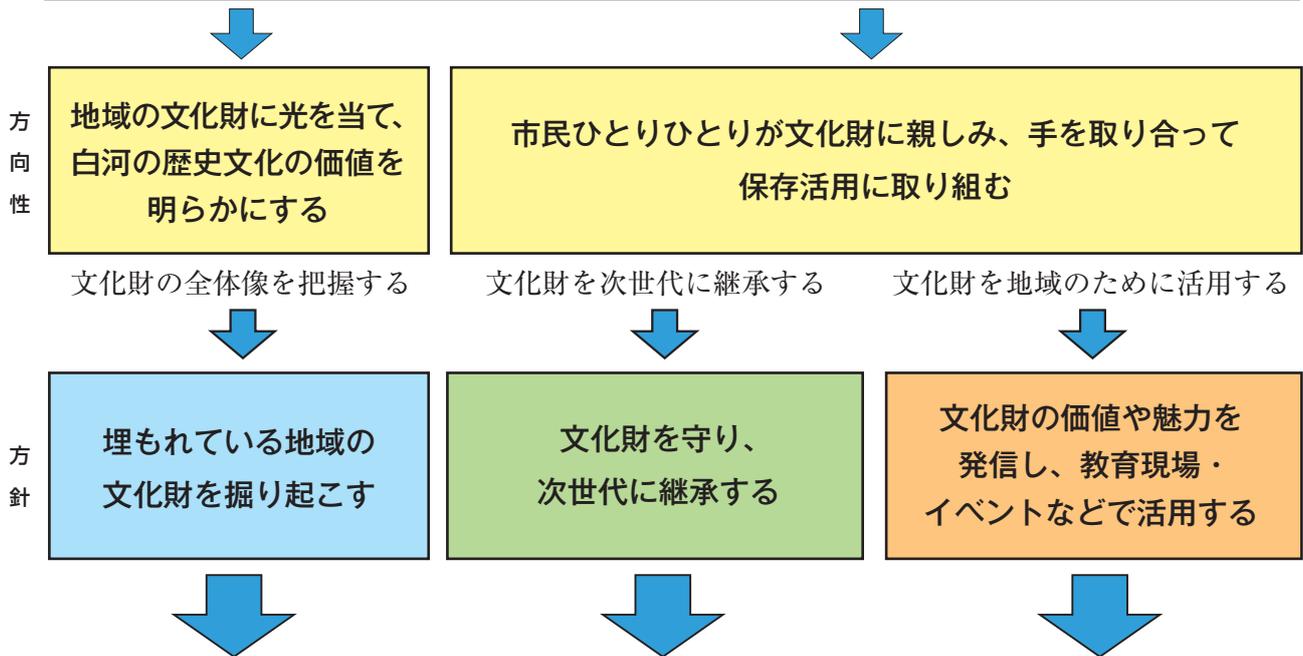


琴平神社奉納相撲

文化財の保存・活用の方針および施策

市の文化財を取り巻く現状をふまえ、文化財行政における将来像と方向性、文化財の保存・活用の方針や主な施策を、以下のように定めました。

【将来像】みんなの力で未来をひらく 歴史・文化のいきづくまち 白河
（「白河市第2次総合計画」）



主な施策

- 1 文化財の全体像を把握する
 - ・市内に所在する文化財の調査の推進（美術工芸品、民俗文化財、重要遺跡など）
 - ・調査報告書の刊行推進 など
- 2 文化財を次世代へ継承する
 - ・文化財登録制度の創設
 - ・無形民俗文化財の団体への支援や記録保存
 - ・文化財防災設備の見直し など
- 3 文化財を地域のために活用する
 - ・データベースやWEB、紙媒体などによる文化財の魅力発信
 - ・展覧会・講演会など文化財への理解を促す催しや教育普及の推進
 - ・文化財展示・保管施設の整備検討
 - ・史跡の価値を正しく伝える整備の推進
 - ・ユニークベニュー（建造物などの文化財を会場に用いた催し）の推進 など

文化財保存活用区域

市内の各地域を「文化財保存活用区域」に設定し、それぞれの特色に根ざした文化財の掘り起こしや、地域の歴史をふまえた保存・活用を進めます。

大信文化財保存活用区域

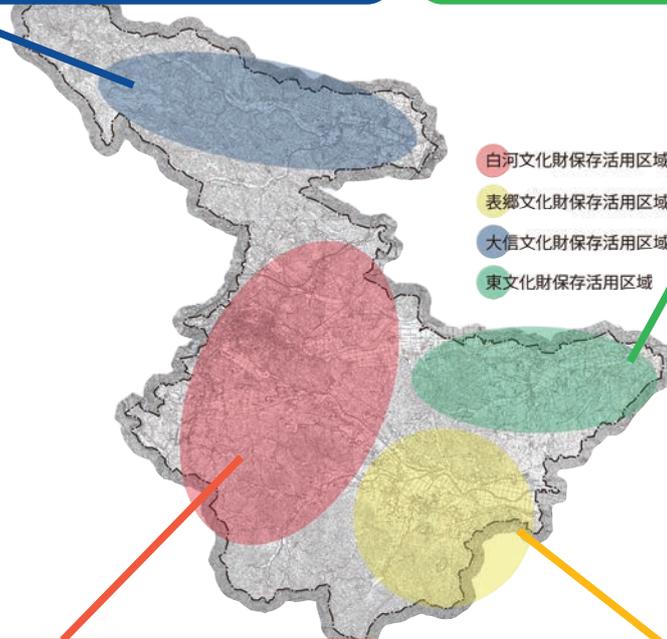
市内北部を通る国道294号(旧会津街道)と、隈戸川流域を中心とした、緑豊かな里山の景観が広がる区域です。

- 主な措置**
- ・各種文化財の調査
 - ・民俗行事の記録・支援
 - ・企画展の開催(中山義秀記念文学館など)

東文化財保存活用区域

市内東部を通る石川街道、江戸時代に陣屋がおかれた水戸街道沿いを中心とする区域です。

- 主な措置**
- ・各種文化財の調査
 - ・民俗行事の記録・支援



白河文化財保存活用区域

古代から現代にいたるまでの白河地方の中心的な拠点が置かれた区域です。古代白河郡の中心であった五箇地区や、古代の検問所として設置された白河関跡、江戸時代の城下町などを含みます。

- 主な措置**
- ・各種文化財の調査
 - ・歴史的まちなみの保存・修景整備
 - ・小峰城跡・南湖公園などの史跡整備
 - ・特別企画展の開催(小峰城歴史館など)

表郷文化財保存活用区域

白河市南東部の表郷地域のうち、棚倉街道沿いおよび社川流域を中心とした、社川の流れと田園が美しい景観をおりなす区域です。

- 主な措置**
- ・各種文化財の調査
 - ・民俗行事の記録・支援
 - ・ビャッコイ自生地の保全

建長の板碑（大信地域）



日吉神社（東地域）



鹿島神社の狛犬（東地域）



町屋遺跡出土土器（大信地域）

天王山遺跡出土品（白河地域）



建鉾山（表郷地域）



ビャッコイ（表郷地域）



陸奥国宣案（白河結城家文書より）

白河市文化財保存活用地域計画 概要版

編集 白河市建設部文化財課

発行日 令和4年3月11日



令和3年度文化庁文化芸術振興費補助金
(地域文化財総合活用推進事業)